

ごみゼロ、花いっぱい

## 道路をきれいに

2月13日、平成18年度道路愛護作業コンクールが行われた。フラワー部門で芳賀町道路愛護会八ツ木支部、与能支部下与能分会、祖母井支部互葉会、西高橋支部が優秀賞を受賞しました。これは清掃や花木の植栽などの道路の環境美化活動

を、ボランティアとして実行していることが認められたものです。

ごみのない町並みや花のある風景は人々の目を楽しませてくれます。みなさんも身近なところから環境美化に取り組んでみませんか。



八ツ木地区的道路(右)と花植えの様子(左)



## かまくら作りに挑戦だ！

祖母井分館  
冒険チャレンジ  
クラブ

2月3日、祖母井分館冒険チャレンジクラブが奥日光でかまくら作りに挑戦しました。日光自然博物館の解説員、ジュニアリーダー、保護者などの協力のもと、19人で行われたこの教室。今年は暖冬の影響で雪が少なく、かまくらは思うように作れませんでしたが、雪遊びを満喫し、思い出に残る一日となりました。

## 町婦人会連絡協議会研修会を実施



2月15日、町婦人会連絡協議会(武藤八重子会長)全体研修会が生涯学習センターで行われました。

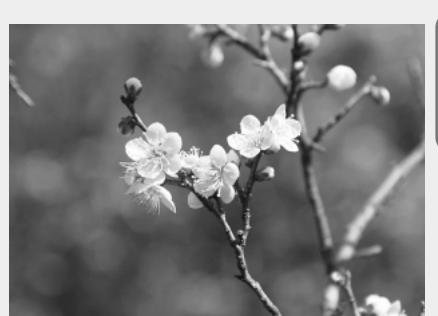
花寿司作りと栄養指導と題したこの研修会では、桃の太巻きとはまぐり寿司を作りました。

参加者からは「桃の節句に孫に作りたい」との声が聞かれました。また、栄養指導では適正な塩分の味噌汁を試食し、その薄い味に驚きの声があがっていました。



## かしの森公園 梅が咲き始めました

かしの森公園の梅の一部が咲き始めました。取材当日はほとんどの梅のつぼみが大きく膨らんでおり、みごろ間近といった様子でした。梅の香りが漂うかしの森公園、さくら祭りの前に、ひと足早い春を楽しんではいかがですか。



2月16日「毎日・地方自治大賞」(主催:毎日新聞社、後援:総務省)優秀賞に芳賀町が選ばされました。この賞は、ユニークな地域づくりに取り組んでいる自治体を表彰するもので、13回目となる今回のテーマは「コミュニケーション再生」と「教育」でした。

芳賀町は、地元産のコメや野菜を給食に取り入れる

システムづくり、児童生徒と農家の交流、残飯を有機肥料にして野菜の栽培に使う取り組みなどを「循環型の地産地消と学校給食」として紹介しました。

受賞にあたり森町長は「子どもたちが大きくなつたときに、自分の子どもも芳賀町で育てたいと思つてもらえるような町にしたい」と語りました。

## 毎日・地方自治大賞 優秀賞に芳賀町

2月2日、3日「エコテックとちの環2007」がマロニエプラザで開催されました。芳賀町からは、循環システム研究会が参加し、生ごみ回収堆肥で育てた有機野菜の即売を行うとともに、学校での食育や地産地消の取り組みを紹介しました。会場では環境関連企業、団体などの出展のほか、石原良純氏の環境講演会などが行われ、多くの人でぎわいました。



## タウンレポート Town Report

私たち広報部隊が地域のおもしろい話、変わった出来事などレポートします！

